




第3回官民合同会議
阪神・淡路から災害情報の共有・利活用はどう変わったか？
～ 西日本豪雨、北海道胆振東部地震の対応をふまえて ～

第2部 災害時の情報共有の現状

2-2. 広域災害情報連携の取組 ～南西レスキュー、みちのくALERTの紹介～

(研)防災科学技術研究所 社会防災システム研究部門
主幹研究員 伊勢 正

 戦略的イノベーション創造プログラム
Cross-ministerial Strategic Innovation Promotion Program

 危機管理クラウド

2019/1/17 第3回官民合同会議

 **NIED防災科研**

1

次 第

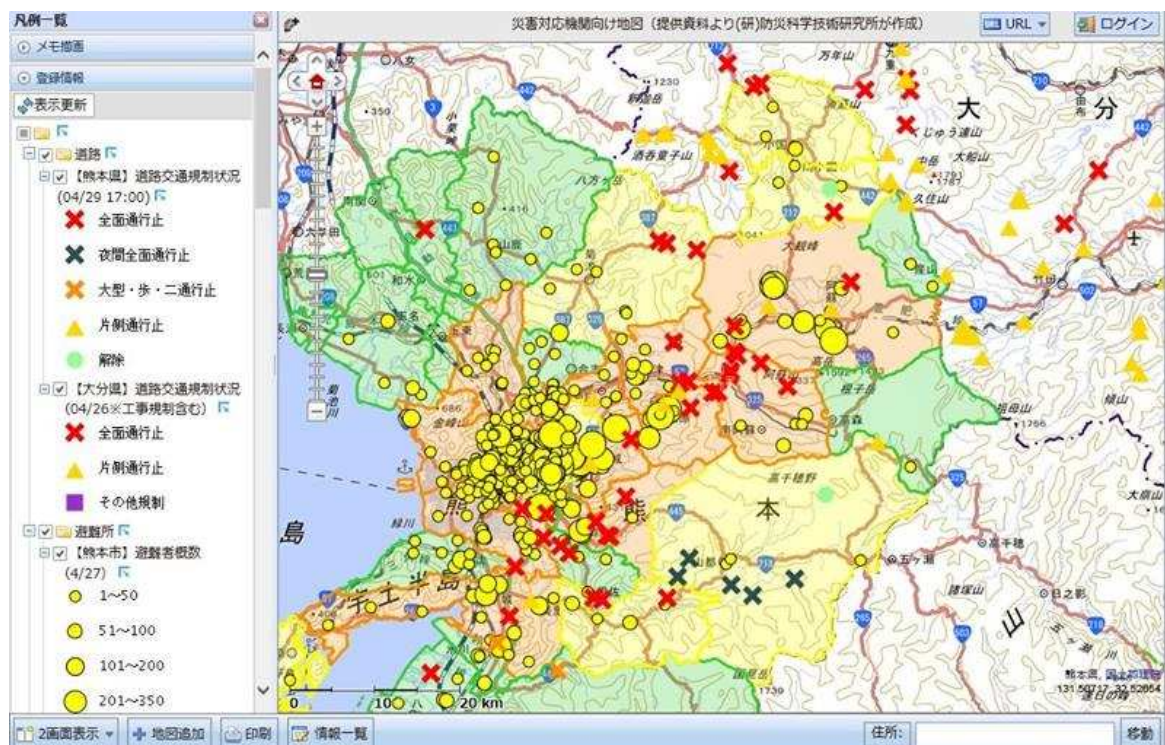
- **災害情報の広域情報共有の現状**
 - » 南西レスキュー、みちのくALERTの紹介
- **広域な情報共有と利活用のための課題**
 - » これから進めていこうとしていること
- **第3部 徹底討論に向けて**

■ 災害情報の広域情報共有の現状

» 南西レスキュー、みちのくALERTの紹介

熊本地震対応 ～防災科研の情報支援～

道路状況、避難所情報、通水情報・・・さらにVC情報、航空写真など。
様々な情報をGIS(地理空間情報システム)で整理 ⇒ 各機関に提供



九州北部豪雨対応 ～防災科研の情報支援～

様々な情報をGIS(地理空間情報システム)で整理

⇒ 自衛隊、消防、警察など実動機関を中心に情報提供

■ 実動機関との連携

- » 自衛隊、消防、警察(実動3機関)との直接的協働を展開
- » 搜索のための地図など、直接提供



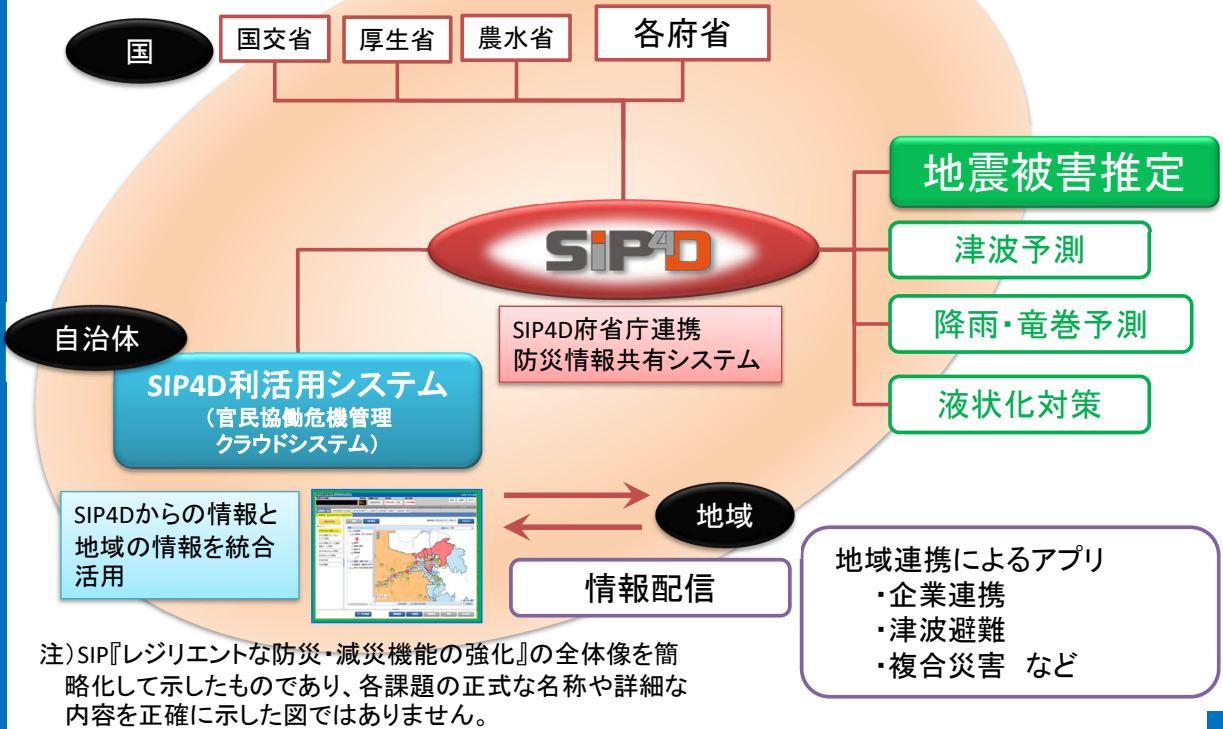
写真: 陸自への提供資料 (地理院地図+ドローン画像+住宅地図)

平成30年度の活動 ～防災科研の情報支援～

■ 熊本地震等の活動が評価され、平成30年度の災害対応に参加、情報支援を中心に活動



内閣府SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)(H26年度当初) レジリエントな防災・減災機能の強化の構成概要

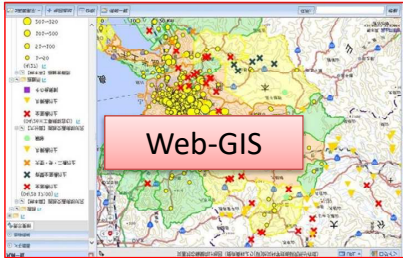


SIP4Dからの情報を地域で使う！！(SIP4D利活用システム)

- ・様々な入力者(各機関)が、様々な情報を持ち寄る ⇒ **データベース機能**
- ・データベースから各ユーザが必要な情報を、必要な形で取り出す ⇒ **プリセット機能**

通常のWeb-GISとSIP4D利活用システム (官民協働危機管理クラウドシステム)の違い

問題点
 ・使い方が難しい。
 ・膨大なレイヤーが生成される。



・熊本地震: 631レイヤー
 ・九州北部: 283レイヤー



SIP4D利活用システム

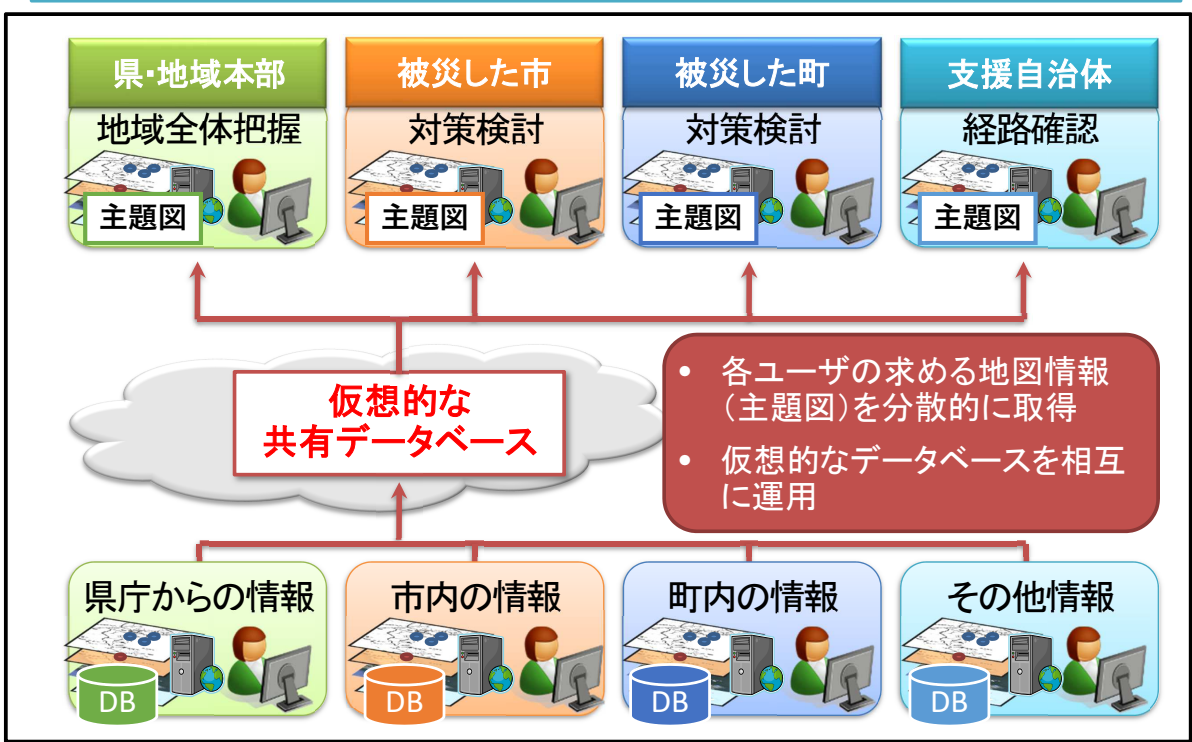
・タブとメニュー(ショートカットkey)を配置



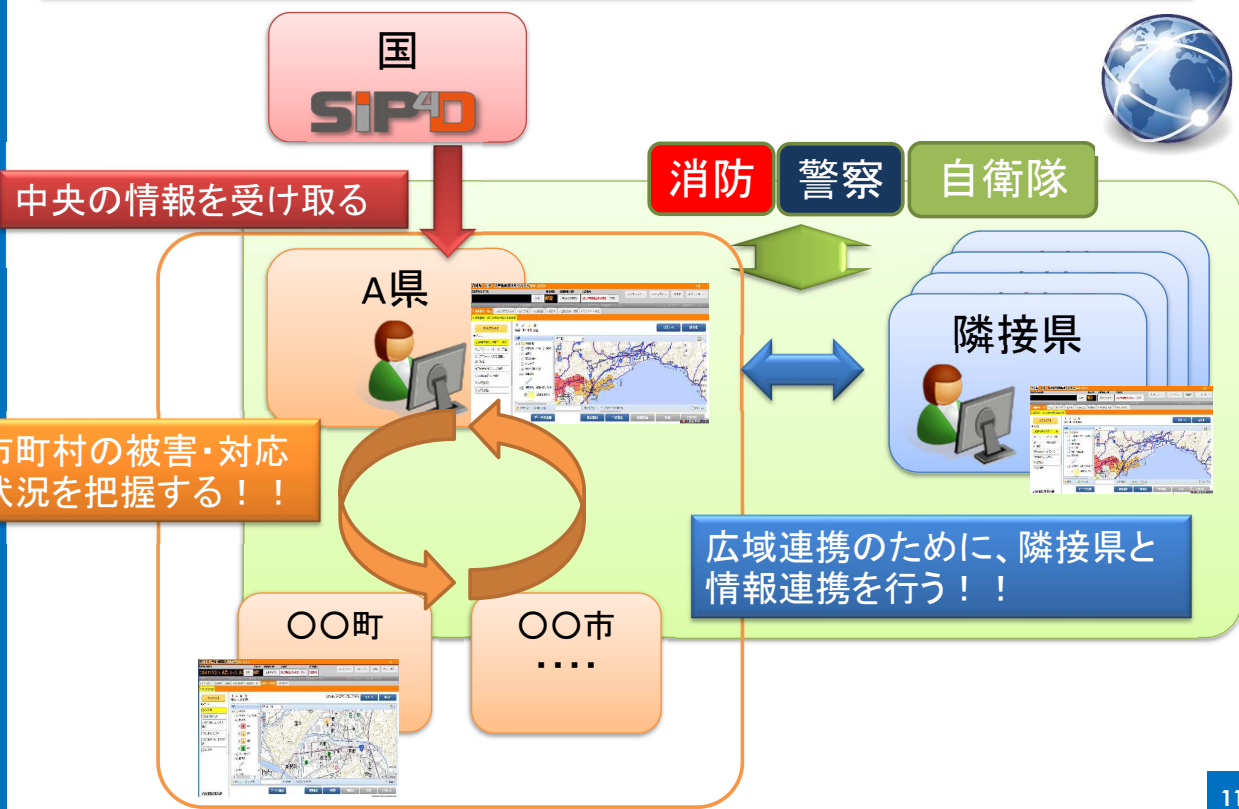
・タブとメニュー(ショートカットKey)に、標準的な情報図を予めセット可能。
 ⇒ 状況図、対応図等をプリセット
 ・標準的な情報図を、設定により自由に変更可能。
 ⇒ 各機関ごとの標準図をセット
 ⇒ 対応の流れ、項目等を配置

SIP4D利活用システムで提案する構造: 分散相互運用

・ユーザインタフェース: 各機関の欲しい状況を分散的にプリセット
 ・データベース: 各機関がデータを相互に持ち寄る

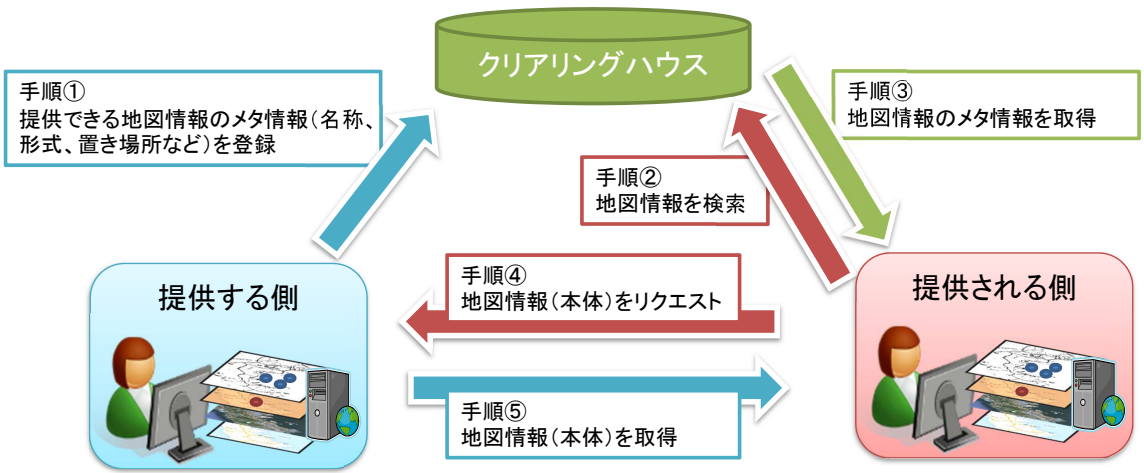


SIP4D利活用システムで提案する構造 ～ “上下左右”の情報流通のために ～



地図を交換するための“クリアリング・ハウス”

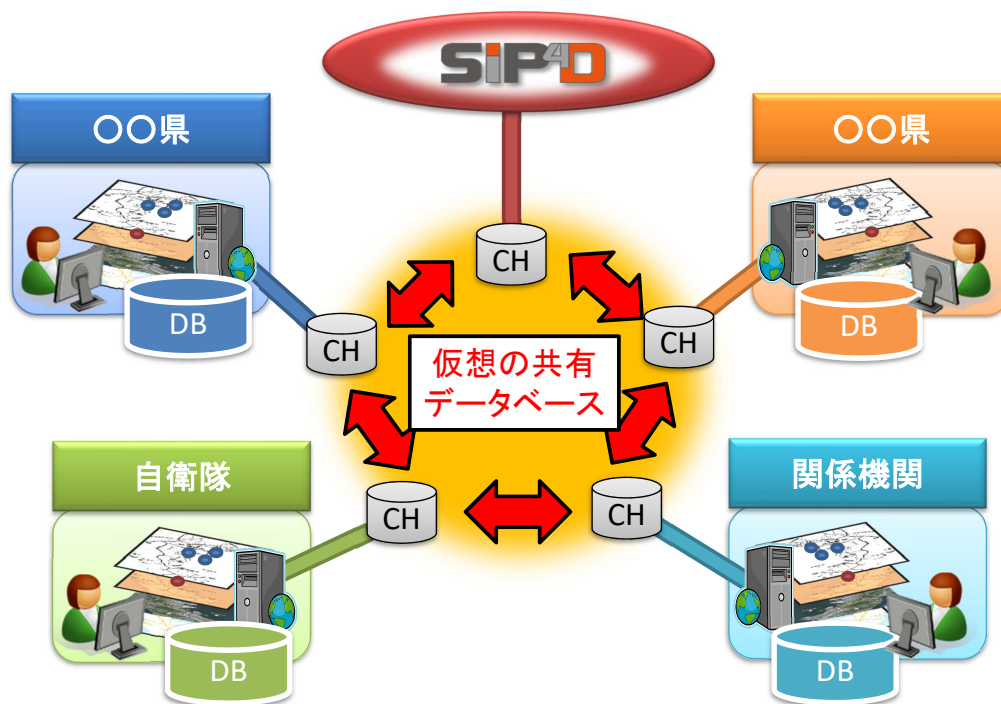
クリアリングハウスとは？
他機関が提供する地図情報を取込むための仕組みです。



クリアリングハウス

- 様々な機関が、統一したルールに則り運営することで、各機関が様々な地図情報を活用することができる仕組み。
- 技術的には確立しているが、運用ルールについては検討が必要。

“クリアリング・ハウス”による他機関連携



13

地方自治体等の防災訓練における防災科研の取組

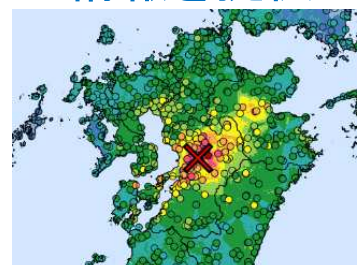
■ 各県(の本部)が情報を共有するためのシステムを試験的に構築

- » 主要な災害情報について共有サイトを提供
 - » 幹部が見やすい情報の整理方法、表示方法を提供
 - » 各県からの情報を地方全体として集約
- ※ スライドP. 7の左下の『SIP4D利活用システム』



■ 地震による被害推定など、府省からの情報を提供

- » 訓練の与条件(断層、マグニチュード)に対応した被害推定(震度分布、倒壊家屋等)を提供
- ※ スライドP. 7左上の『地震被害推定など』



14

南西レスキュー30(西部方面総監部+九州7県、沖縄県)との連携



平成30年度の取組

- 平成30年7月23日に実施された南西レスキュー30において、相互運用環境をSIP4D利活用システムを用いて試験的に構築し、陸上自衛隊西部方面総監部、九州7県・沖縄県を対象として情報共有のデモを実施した。
- その結果、システムによる情報共有の有効性、使用システム・使用地図・地図記号等の統一が不可欠であること、が認知された。
- 今後は、協議会を立ち上げ、情報共有のルール（ピクトグラム、表示方法、共有すべき項目等）の統一に向けた活動を推進していく予定である。



南西レスキュー30の様子：
訓練の条件付与、状況把握に活用。

《訓練の概要》

陸上自衛隊西部方面総監部（熊本市）が幹事となり、九州7県・沖縄県が参加する総合防災訓練。みちのくALERTほどの規模ではないが、今後の規模拡大が期待されている。



相互に情報共有

利活用システム



自衛隊		その他の関係機関	
福岡県	佐賀県	長崎県	
熊本県	大分県	宮崎県	
鹿児島県	沖縄県		

南西レスキュー30(西部方面総監部+九州7県、沖縄県)との連携



熊本地方合同庁舎



熊本県庁



宮崎県庁



大分県庁



沖縄県庁



北九州ブロック(10月26日大分県)



南九州・沖縄ブロック(10月31日鹿児島県)



みちのくALERT2018(東北方面総監部+東北6県)との連携



平成30年度の取組

- 平成30年11月9日に実施されたみちのくALERT2018（前段訓練）において、相互運用環境をSIP4D利活用システムを用いて試験的に構築し、陸上自衛隊東北方面総監部、東北6県に対し、災害情報の共有を図った。
- その結果、システムによる情報共有の有効性、使用システム・使用地図・地図記号等の統一が不可欠であることが認知された。
- 今後は、災害情報システムに関する情報交換会を開催し、情報共有のルール（ピクトグラム、表示方法、共有すべき項目等）の統一に向けた活動を推進していく予定である。



仙台駐屯地の様子：
体育館の前方に設置された大型モニターにSP4D利活用システムの画面が表示された。

《訓練の概要》

陸上自衛隊東北方面総監部（仙台市）が幹事となり、東北6県および市町村が参加する大規模総合防災訓練。4年に1度開催される。今回は2014年の開催。



みちのくALERT2018(東北方面総監部+東北6県)との連携



SIP4D利活用システムの画面



仙台駐屯地



青森県庁



青森駐屯地



神町駐屯地(山形県)



福島県庁

具体事例 ～みちのくALERT2018～

宮城県SIP4D活用システム Ver 2.3a

気象庁からの情報 発令状況 避難勧告/指示 災害名称

解除 自動発報有効 みちのくALERT2018 管理

メッセンジャー タイムライン 会議録 ホワイトボード

1.監視・観測 2.本部設置 3.避難所 4.被災・交通規制 5.実動検閲 6.物資情報 7.クローンジョー

A.道路被害箇所 B.交通規制区間 C.その他被害(道路除く)

タスクリスト

メニュー

- ①道路被害箇所の入力・更新
- ②他機関の状況閲覧

凡例

- 登録情報
- 主要施設(庁舎、防災拠点など)
- 道路被害箇所
- 未対応
- 対応中
- 対応済
- 被災状況
- 避難所
- 規制・復旧区間
- 重要路線
- 行政界
- 山形県
- 青森県
- 岩手県
- 秋田県
- 福島県
- 陸上自衛隊

標準地図 (淡色)

UTMグリッド 地図追加 地図を移動 中心位置の住所を取得

検索 データの追加 変更登録 一括変更 情報発信 印刷 CSV出力

宮城県



宮城県の入力

具体事例 ～みちのくALERT2018～

宮城県SIP4D活用システム Ver 2.3a

気象庁からの情報 発令状況 避難勧告/指示 災害名称

解除 自動発報有効 みちのくALERT2018 管理

メッセンジャー タイムライン 会議録 ホワイトボード

1.監視・観測 2.本部設置 3.避難所 4.被災・交通規制 5.実動検閲 6.物資情報 7.クローンジョー

A.道路被害箇所 B.交通規制区間 C.その他被害(道路除く)

タスクリスト

メニュー

- ①道路被害箇所の入力・更新
- ②他機関の状況閲覧

凡例

- 登録情報
- 主要施設(庁舎、防災拠点など)
- 道路被害箇所
- 未対応
- 対応中
- 対応済
- 被災状況
- 避難所
- 規制・復旧区間
- 重要路線
- 行政界
- 山形県
- 青森県
- 岩手県
- 秋田県
- 福島県
- 陸上自衛隊

標準地図 (淡色)

UTMグリッド 地図追加 地図を移動 中心位置の住所を取得

検索 データの追加 変更登録 一括変更 情報発信 印刷 CSV出力

宮城県



宮城県+福島県の入力

具体事例 ～みちのくALERT2018～

宮城県SIP4D活用システム Ver 2.3a

1.監視・観測 2.地図を検索して追加します

A.道路被害箇所 クリアリングハウス地図を検索
キーワードを入力してください:

検索結果: 1 - 15件 / 28912 前へ 次へ

将来人口・世帯予測ツール
2019/1/8 6:14:38
組織: 国土交通省 国土技術政策総合研究所
国勢調査の小地域人口・世帯データを用いてコーホート法により将来人口予測マップ表示する機能を備えた Excel ベースのツールです。##### ※福島県について測が不可能なため、登録しておりません。##### 注意! ##### ※福島県について2010, 2013, 2016の32bit版および64bit版で動作確認をしております。##### ガウ: ファイルは、フォルダ構成ごと中身をすべて展開した上で使用していただくよう、お願##### 予測結果につきましては、あくまでも目安としてお取り扱いいただきたいと思ひしては、予測結果につきまして、責任を持つことはできません。
人口情報メッシュ配分プログラム: 不具合のお知らせ、および使用上の注意(10月4日) ##### 更新の詳細については、更新履歴をご覧ください。

MP-PAWR: 鉛直積算雨量(SIP2, 2019/01/08 10:00:00)
2019/1/8 2:09:12
組織: S I P 4 D
鉛直積算雨量とは高さhの円柱内に含まれる雨滴の量であり、降雨量を表すものについて** 災害対応を目的として公開しています。データの二次利用等については防むわしてください。

MP-PAWR: 降雨強度(SIP2, 2019/01/08 10:30:00)
2019/1/8 2:08:34
組織: S I P 4 D
降雨強度とは観測が雨の強さを1時間ももりに換算し、雨量であり、公開の雨量を1

検索 データの追加 変更登録 一括変更 情報発信 印刷 CSV出力

宮城県



その他の地図を検索

具体事例 ～みちのくALERT2018～

宮城県SIP4D活用システム Ver 2.3a

1.監視・観測 2.本部設置 3.避難所 4.被災・交通規制 5.実動機 6.物資情報 7.クローロジー

A.道路被害箇所 B.交通規制箇所 C.その他被害(道路除く)

タスクリスト

1.道路被害箇所の入力・更新
2.他機関の状況閲覧

解説 URL 計画 履歴

凡例

- 登録情報
- 主要施設(庁舎)防災拠点など
- 道路被害箇所
 - 未対応
 - 対応中
 - 対応済
- 被災状況
- 避難所
- 規制・御旧区画
- 重要路線
- 行政界
- 山形県
- 青森県
- 岩手県
- 秋田県
- 福島県
- 陸上自衛隊
- SIP4D
 - 震度分布_みちのくレスキュー

標準地図(淡色)

検索 データの追加 変更登録 一括変更 情報発信 印刷 CSV出力

宮城県



NIEDの震度推計を重ねて表示

具体事例 ～みちのくALERT2018～

陸自 東北方面隊 SIP4D利活用システム Ver 2.3a

気象庁からの情報 発令状況 避難勧告/指示 災害名称

日昼前まで大雪や電線等への着雪 履歴 解除 自動発報無効 みちのくALERT2018 管理

メッセンジャー タイムライン 会議録 ホワイトボード

1.状況図 2.行動図

A.状況図 B.体制発令 C.道路被害箇所 D.交通規制区間 E.その他被害(道路除く) F.避難所 G.物資情報 H.クノロロジー

タスクリスト

メニュー

①状況図

自衛隊

解説 URL 計測 履歴

凡例

- 登録情報
- 主要施設 (庁舎、防火機関)
- 被災状況
 - 未対応
 - 対応中
 - 対応済
- 道路被害箇所
 - 未対応
 - 対応中
 - 対応済
- 規制・復旧区間
 - 被害未確認
 - 通行規制 (片側)
 - 通行不能
 - 通行不能 (側道)
 - 復旧済み
 - 迂回ルート
- 行政界
- 青森県
- 被災状況
- 道路被害箇所
- 規制・復旧区間
- 避難所
- 岩手県
- 宮城県
- 秋田県
- 山形県
- 福島県

標準地図 (淡色)

0 20 40 km

地図を移動 中心位置の住所を取得

印刷

自衛隊の入力

具体事例 ～みちのくALERT2018～

陸自 東北方面隊 SIP4D利活用システム Ver 2.3a

気象庁からの情報 発令状況 避難勧告/指示 災害名称

着雪に注意してください。 履歴 解除 自動発報無効 みちのくALERT2018 管理

メッセンジャー タイムライン 会議録 ホワイトボード

1.状況図 2.行動図

A.状況図 B.体制発令 C.道路被害箇所 D.交通規制区間 E.その他被害(道路除く) F.避難所 G.物資情報 H.クノロロジー

タスクリスト

メニュー

①状況図

自衛隊

解説 URL 計測 履歴

凡例

- 未対応
- 対応中
- 対応済
- 規制・復旧区間
 - 被害未確認
 - 通行規制 (片側)
 - 通行不能
 - 通行不能 (側道)
 - 復旧済み
 - 迂回ルート
- 行政界
- 青森県
- 被災状況
- 道路被害箇所
- 規制・復旧区間
- 避難所
- 岩手県
- 宮城県
- 秋田県
- 山形県
- 福島県

標準地図 (淡色)

0 20 40 km

地図を移動 中心位置の住所を取得

印刷

自衛隊+青森県の入力



具体事例 ～みちのくALERT2018～

陸自 東北方面隊 SIP4D利活用システム Ver 2.3a

気象庁からの情報 発令状況 避難勧告/指示 災害名称

東部では、9日夕方まで強風に注 **解除** 自動発報無効 みちのくALERT2018 管理

メッセンジャー タイムライン 会議録 ホワイトボード

1.状況図 2.行動図

A.状況図 B.体制発令 C.道路被害箇所 D.交通規制区間 E.その他被害(道路除く) F.避難所 G.物資情報 H.クロノロジー

タスクリスト

メニュー

①状況図

解説 URL 計測 履歴

最大化

凡例

- 通行不能(側)
- 復旧済み
- 迂回ルート
- 行政界
- 青森県
- 被災状況
- 道路被害箇所
- 規制・復旧区間
- 避難所
- 岩手県
- 被災状況
- 道路被害箇所
- 規制・復旧区間
- 避難所
- クロノ_交通情報
- クロノ_人的被害
- クロノ_災害情報
- クロノ_住家被害
- 宮城県
- 被災状況
- 道路被害箇所
- 規制・復旧区間
- 避難所
- 秋田県
- 山形県

0 20 40 km

UTMグリッド 地図追加 地図を移動 中心位置の住所を取得 印刷

自衛隊+青森県(避難所を含む)の入力

具体事例 ～みちのくALERT2018～

陸自 東北方面隊 SIP4D利活用システム Ver 2.3a

気象庁からの情報 発令状況 避難勧告/指示 災害名称

気象警報・注意報 **[注意報] 強** 解除 自動発報無効 みちのくALERT2018 管理

メッセンジャー タイムライン 会議録 ホワイトボード

1.状況図 2.行動図

A.状況図 B.体制発令 C.道路被害箇所 D.交通規制区間 E.その他被害(道路除く) F.避難所 G.物資情報 H.クロノロジー

タスクリスト

メニュー

①状況図

解説 URL 計測 履歴

最大化

凡例

- 登録情報
- 主要施設(庁舎、防災機)
- 被災状況
- 未対応
- 対応中
- 対応済
- 道路被害箇所
- 未対応
- 対応中
- 対応済
- 規制・復旧区間
- 被害未確認
- 通行規制(片)
- 通行不能
- 通行不能(側)
- 復旧済み
- 迂回ルート
- 行政界
- 青森県

0 60 120 km

UTMグリッド 地図追加 地図を移動 中心位置の住所を取得 印刷

自衛隊+6県の入力



具体事例 ～みちのくALERT2018～

陸自 東北方面隊 SIP4D活用システム Ver 2.3a

気象庁からの情報 発令状況 避難勧告/指示 被害名称

2019-01-09 05:48:24 気象庁発表 履歴 解除 自動発報無効 みちのくALERT2018 管理

メッセンジャー タイムライン 会議録 ホワイトボード

1.状況図 2.行動回

A.状況図 B.体制発令 C.道路被害箇所 D.交通規制区間 E.その他被害(道路除く) F.避難所 G.物資情報 H.クロノロジー

タスクリスト

メニュー

①状況図

解読 URL 計測 履歴

標準地図 (淡色)

凡例

- 対応中
- 対応済
- 道路被害箇所
- 未対応
- 対応中
- 対応済
- 規制・復旧区間
- 被害未確認
- 通行規制 (片側)
- 通行不能
- 通行不能 (両側)
- 復旧済み
- 迂回ルート

行政界

- 青森県
- 岩手県
- 宮城県
- 秋田県
- 山形県
- 福島県

人的被害

七北田川

仙台東1-C

仙台北1-C

野木町

宮城野区

小鶴新田駅

若林区

仙台平野

長町駅

仙石線

全田町駅

陸前高砂駅

0 1 2 km

140°59'2.4, 38°13'35.1

2画面表示

印刷

自衛隊+宮城県の入力(仙台市の拡大)

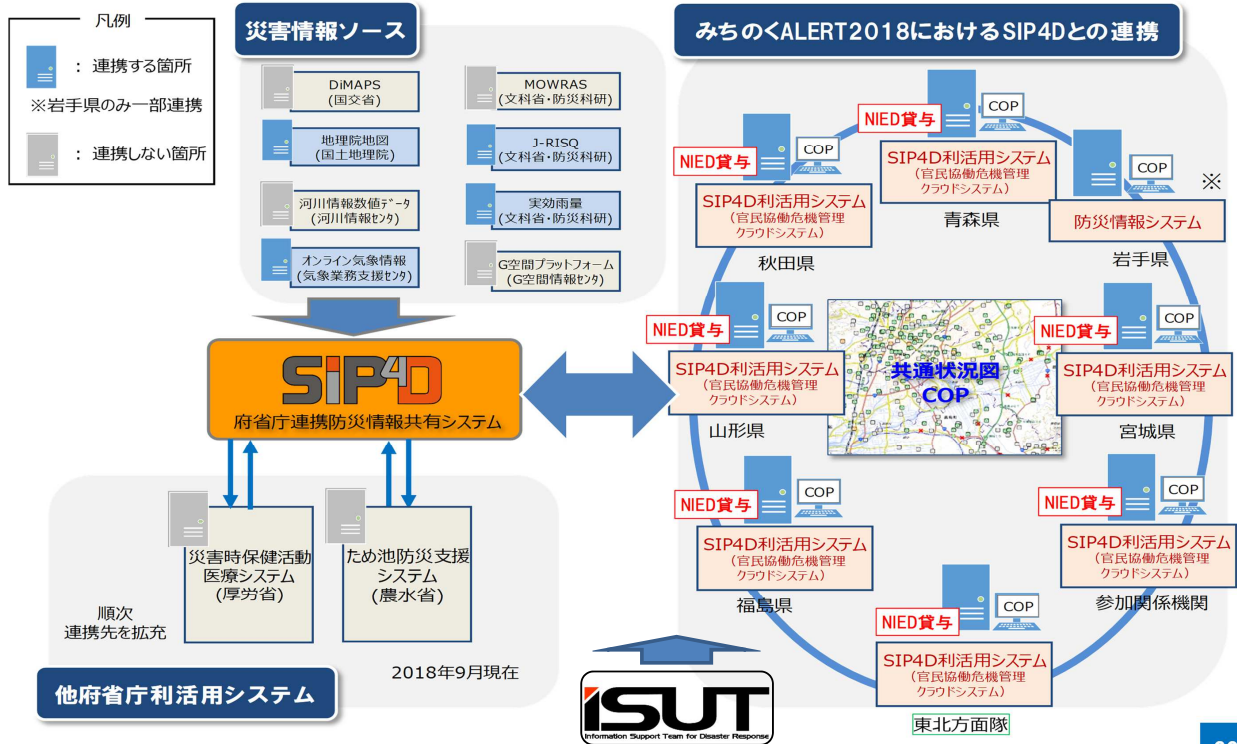
27

- 広域な情報共有と利活用のための課題
 - » これから進めていこうとしていること

28

SIP4D利活用システムによる分散相互の試験構築(1)

- 陸上自衛隊東北方面隊、東北6県に対し、SIP4D利活用システムを試験構築して、分散相互運用による災害情報の共有を図った。



SIP4D利活用システムによる分散相互の試験構築(2)

- システムによる災害情報の共有が有効であることを認識して頂いた。
 - » 情報項目を整理して表示
 - » 拡大／縮小が可能
 - » 外部情報(他機関の情報)を取込むことが可能

情報項目を整理して表示

1. 状況図 2. 行動図

A. 状況図 B. 体制発令 C. 道路被害箇所 D. 交通規制区間 E. その他被害(道路除く) F. 避難所 G. 物資情報 H. ...

データ共有で拡大／縮小が可能

外部情報(他機関の情報)の取込可能

行政界

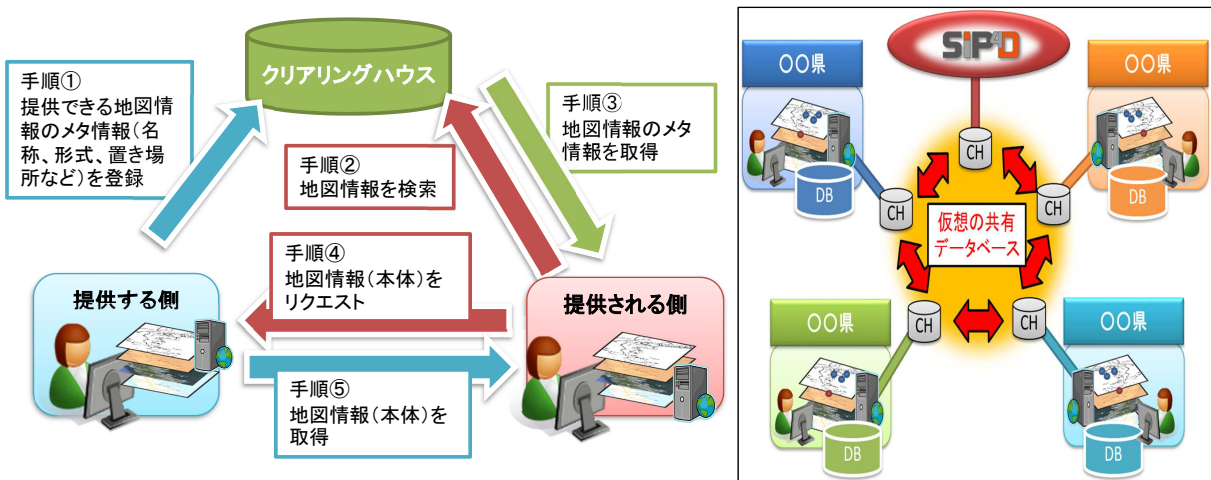
- 青森県
- 岩手県
- 宮城県
- 秋田県
- 山形県
- 福島県

連携を実現するために必要な取組(1)

- 連携ルールを検討、実施するための協議会(仮称)の設置
 - » みちのくALERT2018では、NIEDのサーバーを使って、あくまでも、**仮設システム**を構築して、各県および自衛隊が試験運用したに過ぎない。
 - » 自治体の災害情報システムは、通常5年程度で更新される。少なくとも5年程度の期間をかけて、各県の**“足並みをそろえる”(システム更新時に連携ルールが反映される)**ための作業が必要。
 - » 協議会(仮称)とともに、ワーキング委員会のような**“手を動かす組織”**を作り、次頁以降の具体的課題の検討が必要。

連携を実現するために必要な取組(2)

- 具体の課題(1):システム基本構成の合意
 - » 分散相互運用に対して、基本的な合意が必要である。



連携を実現するために必要な取組(3)

■ 具体の課題(2): シンボルの統一

» 地図情報を表現するためのシンボルに全国ルールはない。

現行シンボル例	DiMAPS(国交省)シンボル例	防災科研シンボル例																														
 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">被害報</p> <table style="width: 100%; font-size: small;"> <tr> <td>● 河川・管理施設被害状況(国)</td> <td>● 河川・管理施設被害状況(国)</td> </tr> <tr> <td>● 一般被害状況</td> <td>● 河川・管理施設被害状況(都道府県)</td> </tr> <tr> <td>■ ダム・被害状況</td> <td>■ 土石流等</td> </tr> <tr> <td>■ 地すべり、がけ崩れ</td> <td>■ 海岸保全施設・点検状況</td> </tr> <tr> <td>■ 高速道路</td> <td>■ 直轄国道</td> </tr> <tr> <td>■ 補助国道</td> <td>■ 都道府県・政令市道</td> </tr> <tr> <td>■ 鉄道・運行状況</td> <td>■ 自動車・バスターミナル状況</td> </tr> <tr> <td>■ 自動車検査場</td> <td>■ 軽自動車検査場</td> </tr> <tr> <td>■ 海事・海事運行状況</td> <td>■ 港湾・施設等被害状況</td> </tr> <tr> <td>■ 航空・空港施設被害状況</td> <td>■ 物流・トラックターミナル被害状況</td> </tr> <tr> <td>■ 下水・下水道処理施設被害状況</td> <td>■ 都市・公園被害状況</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 5px;">※熊本市地図情報サービス参考</p> </div>	● 河川・管理施設被害状況(国)	● 河川・管理施設被害状況(国)	● 一般被害状況	● 河川・管理施設被害状況(都道府県)	■ ダム・被害状況	■ 土石流等	■ 地すべり、がけ崩れ	■ 海岸保全施設・点検状況	■ 高速道路	■ 直轄国道	■ 補助国道	■ 都道府県・政令市道	■ 鉄道・運行状況	■ 自動車・バスターミナル状況	■ 自動車検査場	■ 軽自動車検査場	■ 海事・海事運行状況	■ 港湾・施設等被害状況	■ 航空・空港施設被害状況	■ 物流・トラックターミナル被害状況	■ 下水・下水道処理施設被害状況	■ 都市・公園被害状況	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; font-weight: bold; font-size: 2em; margin-right: 10px;"> 人 家 道 橋 川 砂 </div> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; font-weight: bold; font-size: 2em; margin-right: 10px;"> 崖 鉄 ラ 火 他 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table style="width: 100%; font-size: small;"> <tr> <td></td> <td>未対応</td> </tr> <tr> <td></td> <td>解決</td> </tr> <tr> <td></td> <td>継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td>完了</td> </tr> </table> </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 5px; font-size: small;">※SIP4D利活用システムにおける過去の被災状況のシンボル例</p>		未対応		解決		継続		完了
● 河川・管理施設被害状況(国)	● 河川・管理施設被害状況(国)																															
● 一般被害状況	● 河川・管理施設被害状況(都道府県)																															
■ ダム・被害状況	■ 土石流等																															
■ 地すべり、がけ崩れ	■ 海岸保全施設・点検状況																															
■ 高速道路	■ 直轄国道																															
■ 補助国道	■ 都道府県・政令市道																															
■ 鉄道・運行状況	■ 自動車・バスターミナル状況																															
■ 自動車検査場	■ 軽自動車検査場																															
■ 海事・海事運行状況	■ 港湾・施設等被害状況																															
■ 航空・空港施設被害状況	■ 物流・トラックターミナル被害状況																															
■ 下水・下水道処理施設被害状況	■ 都市・公園被害状況																															
	未対応																															
	解決																															
	継続																															
	完了																															

参 考

■ みちのくALERT2018 の表記と JXR30 の表記

みちのくALERT2018での被害のシンボル

JXR30での被害のシンボル



被害の種類に寄らず、**X** で表記

ラ: ライフライン
人: 人的被害 など
被害の種類を示すシンボルを用意

課題のまとめ（東北6県への提案事例）

■ 課題①

- » 協議会（仮称）など、東北全体の災害情報を共有するための施策について、継続的な検討を行う場を確保する必要がある。

■ 課題②

- » 災害情報システムの基本要件について調整を行う必要がある。

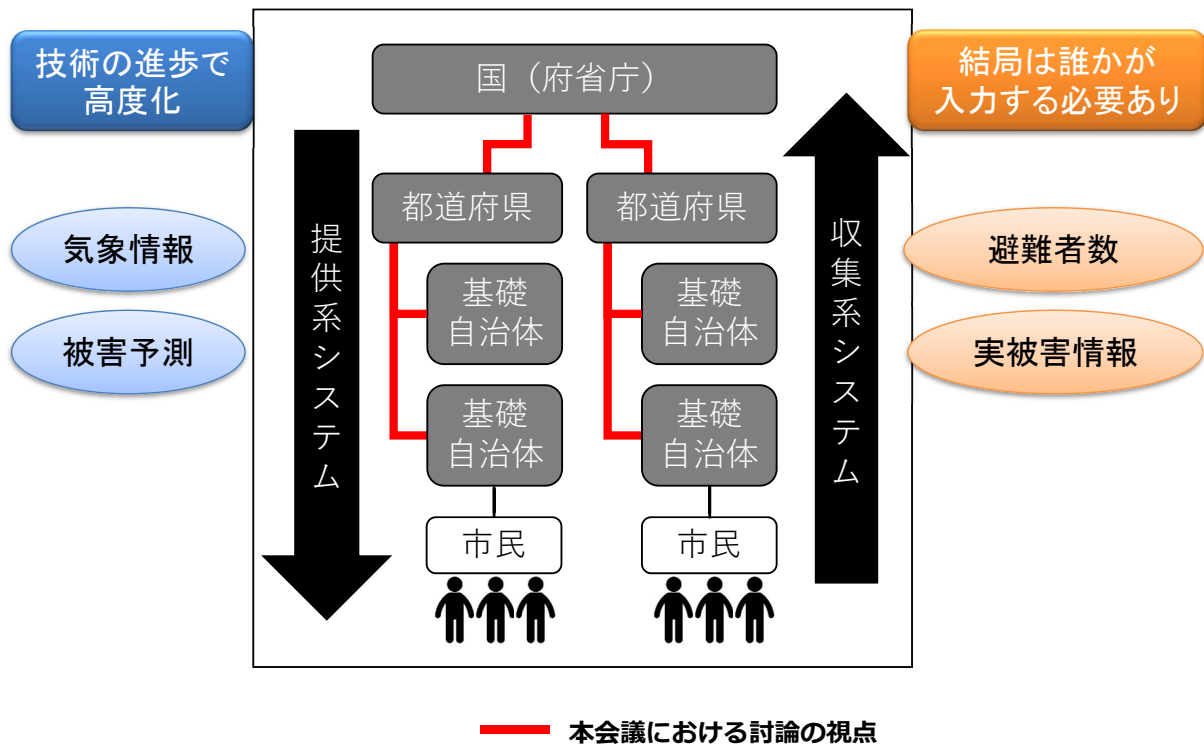
■ 課題③

- » シンボルの統一など、運用面について検討を行う必要がある。

注) 上記は、みちのくALERT2018を踏まえた、防災科研からの提案であり、決定事項ではない。

■ 第3部 徹底討論に向けて

「災害情報」と一言でいっても・・・



37

討論の視点

討論の視点①

- ◆ 行政界を超える広域災害に対して、都道府県は今、何をしているか、何が課題か？

討論の視点②

- ◆ 都道府県と市町村の関係、都道府県と国の関係はどうあるべきか？

討論の視点③

- ◆ 情報の共有・利活用はどうあるべきか？

38